



高松市議会 12月定例会報告



あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます

高松市議会議員 香川洋二

12月高松市議会定例会は12月4日から17日までの日程で開催され、2004年度一般会計補正予算案など23議案を原案通り可決。補正後の一般会計予算は千二百十五億百万円となり、専決処分をおこなった台風23号災害復旧費は七億三千五百万円。その他議員提出議案は「北方領土問題の解決促進を求める決議」他2件議決。

(注 高松市議会便り是非ご覧下さい)

私の一般質問は12月10日午後行われ、人事問題、台風23号関連、道路行政、中心部適正配置について質問。適正配置のうち、校区修正については、理事者側に再質問をおこなった。2Pに質問記載

市職員定年は60歳ではない！

本市では、昭和59年9月22日、条例第20号高松市職員の定年等に関する条例制定により、定年は60歳と決められたが、医師、歯科医師は65歳。また、同条例3条にかかっている技能職、守衛、用務、調理、衛生などに従事する技能職職員は63歳となっている。現在61歳

63歳の職員は市長部門・教育委員会で合計21名。現在合併調印済み、協議中の6町の条例は高松市に統一するとしている。6町中1町のみが63歳定年をだが、5町は60歳定年。問題点は条例を高松市に合すことにより、義務的経費(人件費)が増大。組合との書面協定見直しを早急にすべきだが、市長は研究したいとの前向きでない答弁。なお、中核市35市中63歳定年は本市を含め4市のみ。大半は改善済。

すみれ団地・バス停留所用地協力

県道川東高松線すみれ団地前の南行きバス停が未設置ゆえ停留所用地割愛を住宅課に要請。市は協力するとの回答。高松養護学校生徒はじめ地域住民に朗報。

災害危険地域で情報提供

台風23号で室町・室新町・西はぜ町で土砂崩れ、落石が発生。危険地帯における安全対策ならびに情報提供を求めた。道路課はじめ関係課で地域住民に説明会を開催するとのこと。(自治会を通じ連絡。1月中に開催予定)

校区修正で教育委員会は真実を！

8月26日臨教会議録非公開

12月10日一般質問で塩津教育部長は「栗林小学校と花園小学校との校区修正は適正配置審議会の答申を受けた直後の教育委員会臨時会で議決済」と答弁。校区修正と統廃合の違いは、校区修正は、5人の教育委員で決定できるが、統廃合は議会の承認が必要。しかし、10月定例会議事録によれば、教育委員長自ら、未議決の意味ある発言。また、会議録をもとに、二川議員が教育民生常任委員会で質問。委員会では「まだ、校区修正は修正可である」という本会議と逆の発言。17日議会終了後、教育長と確認の会談を行ったが、8月26日の臨時会会議録に関しては、開示できないと答弁。また、議会改善策として9月定例会から、常任委員会で議員質問が可能になったことを、教育長を除く4教育委員に未周知だったことも判明。議会軽視もはなはだしいし、議員の体質も問題。我田引水の議会報告は、教育長を除く4人の委員を傀儡に仕立て、意のままに教育行政を推進しようとする表れ。教育委員会上層部の隠蔽体質を打破すべき。まお、会談2時間後、教育長から「言い忘れていたが、当日は非公開でした」との電話連絡。あきれてものが言えなかった。公開非公開は議事録を見れば一目瞭然。また、開示できない要因をつくった。この適正配置問題は、市民と共に意見を交え中で推進すべきだが、将来行われるであろう他校区の統廃合や合併後の校区見直し時、同様な住民の声を聞かない体質が続く限り、高松の人づくりは闇の世界に引き込まれる。友人曰「嘘つきは 会の始まり」と一刀両断。

2004年12月定例会一般質問内容

1. 人事制度
過去の昇任試験制度を再考し、職員の資質向上のため復活する考え
市長部門、教育委員会部門に勤務している61歳から63歳までの技能職員の部門別及び年齢別の人数
技能職員の63歳定年を見直す考え
来年度予算における具体的人件費抑圧策
2. 台風23号関係
災害等危機管理下で正確な情報収集のため県と共同で通報ガイドラインを定め協力体制の確立を図る考え。市施設ならびにボランティア団体等緊急連絡網の再検討と情報の共有化を促進する考え
災害時における市民ボランティア活動と行政の関係についてボランティア団体と話し合い、合意を得られた内容によっては地域防災計画に盛り込む考え
兵庫町等市内中心部における浸水の原因と改善策
落石等不安を感じている危険地域の住民へ、現況、事故防止対策等を積極的に説明する考え
災害時におけるペット保護等に関して、香川県獣医師会と話し合いを持ち、地域防災計画の中に盛り込む考え
3. 道路行政
養護学校等へ通学する児童・生徒、また、住民の安全と利便性のため、すみれ団地の一角を停留所として割愛する考え
4. 中心部小中学校適正配置
該当する校区のPTA、団体等に対する説明状況と今後予定している説明会
適正配置に関し、国の特区制度など利用して、新しい学校づくりを進める考え
答申では障害児学級に触れてないが、統廃合等においてどう扱うのか。
松島小学校と光洋中学校の敷地を活用して整備する統合校において視察に入れている小中一貫教育は、一部教科の連携なのか、6・3制から5・4制等まで踏み込むのか具体的な考え
栗林小学校と花園小学校との校区修正は18年度入学児童から行うのか。教育委員会における校区修正の議決はどうなるのか。議決済みならば、いつの教育委員会会議か。

特別地区・慣例地区の見直しは該当校区のみなのか。行うとすればどの地域か。教育委員会は全市的に特別区・慣例区を見直し、扱いを明確化すべき。

中心部小中学校の意思決定済みの新統合校について、教育委員会と地域住民との相互理解のために、コミュニティー・エンパワーメント・プログラムを導入する考え



12月20日「栗林校区を考える会」第5回検討会 教育委員会幹部と討論。当日は地域説明会での説明と矛盾した答弁。

今回の校区修正についての質問・答弁は下記のホームページ、<http://www.kagawayoji.com>。PDFで全文ご覧いただけます。

偏見と独断 2004 高松市ニュースペス 5



台風16号23号本市に大きな爪痕を残す(由良町・室新町)



波照間島淡水化プラント視察 栗林小120周年小柴博士講演



栗林プレーパーク順調に推移 新市民会館落成

高松市議会議員 **香川洋二(獣医師)**

メール moegi@mail.netwave.or.jp

情報は <http://www.kagawayoji.com>.

868-1618 Fax 868-0672